

『神戸国際大学リハビリテーション研究』原稿執筆内規

1. 投稿者の資格

本誌に投稿できる者は、本学の専任教員（有期限雇用の教員を含む）、非常勤教員および本誌編集委員会が寄稿を依頼した者または投稿を認めた者とする。

2. 投稿原稿の種類

- (1) 研究論文：論理的かつ明確な構想に基づき、自分自身の研究結果をまとめて、ある結論を与えたもの。
- (2) 症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行ったもの。
- (3) 短報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
- (4) その他：総説、症例報告、臨床報告、研究・調査報告、紹介など編集委員会で依頼または承認したもの。

3. 具備すべき条件

- 1) 原稿はオリジナル1部およびコピー2部（著者頁は不要）を簡易書留等で送付すること。提出論文のコピーは必ず手元に保存すること。また、原稿と一緒にバックアップした電子媒体（CD-R / RW, DVD-R 等）にハードコピーしたものも添えて送付すること。

- 2) 規定枚数を超過しないこと。

研究論文、症例研究、その他は、要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上り6頁以内（12,000字程度）。短報は原則として刷り上り4頁（9,000字程度）以内。図表は1個を400字として換算すること。ただし、編集委員会において特に認めた場合はこの限りではない。

- 3) 論文には表紙および著者頁をつける。

(1) 和文原稿

表紙には、表題、ランニングタイトル、希望する論文の種類、英文表題、キーワード（3個）、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数（図表含む）を記載する。著者頁には、著者名、所属名、英文の著者名と所属名、責任著者連絡先（E-mail アドレス含む）を記載する。共著者がいる場合は、共著者名、所属名、英文の共著者名と所属名も記載すること。なお、著者や共著者の所属の表記は、氏名の右肩および所属名の冒頭に₁₎や₂₎印をつけること。句読点は「.」と「,」を用いる。

(2) 英文原稿

論文種類、英語の表題、英語の著者名、日本語での表題、日本語での著者名、英語での所属、日本語での所属、ランニングタイトルをこの順に従って書く。なお、著者や共著者の所属の表記は、氏名の右肩および所属名の冒頭に₁₎や₂₎印をつける。英文原稿の場合は、ダブルスペースとし、イタリック体を必要とする場合は、目印にアンダーラインを引く。

- 4) 研究論文、症例研究、短報には和文の要旨（400字程度）をつける。要旨は、目的、方法、結果および結論に分け、簡潔にまとめる。また、研究論文にのみ250語程度の英文要旨をつけること。英文要旨も、Purpose, Methods, Results, Conclusion を含め、和文要旨の内容と一致したものでなければならない。英文要旨はダブルスペースで書くこと。

- 5) 図は白色紙に記載し、線画の太さを1mm以下の線とする。写真は原寸印刷が可能のように、横は8cmまたは16cmのいずれか、縦は9cm以下の大ききとする。図と写真はあわせて通し番号とする。

- 6) 図, 表には, それぞれ通し番号 (1 . . 2 . . 3 . . ……) を付ける. また, 表ではその上部, 図ではその下部に, 通し番号・見出しを表記する. 図 (写真を含む) ・表の挿入位置は本文の右欄外に指示する.
- 7) 原稿には, 表紙を含めページ数を必ず記入する.
- 8) 本文は原則として, I. はじめに (緒言), II. 対象 (材料) と方法, III. 結果, IV. 考察, (V. 結論) など構成すること. これ以外に, 要旨, 利益相反, 謝辞, 引用文献などもつけること.
- 9) 文中の項目を細分する場合は 1 . . 2 . . 3 . . ……; 1) . 2) . 3) ……; (1) . (2) . (3) ……; ①・②・③……; a . b . c . ……; の順によるものとする.
- 10) 単位は原則として国際単位系 (SI 単位) を用いる. 長さ : m, 質量 : kg, 時間 : s, 温度 : °C, 周波数 : Hz 等.
- 11) 略語は初出時にフルスペルを記載する.
- 12) 機器名は, 「一般名」 (会社名, 製品名) で表記する.
- 13) 引用文献の表記については, バンクーバースタイルに従うこととする. 原稿文末に「引用文献」として一括して本文中の出現順に配列する. 本文中該当箇所の右肩に, ₁₋₄₎ や _{3, 4)} のように記す. 著者名は, 筆頭から 3 名まで, それ以上は [他.] または [et al.] とし, 人名の記載は, 姓 (family name) を先にすることを原則とする. なお雑誌名には日本医学雑誌略表 (日本医学図書館協会編) および Index Medicus に従うこと.

(1) 雑誌から引用する場合

著者氏名. 表題. 雑誌名. 出版年 ; 巻数 (必要であれば号数) : 頁 - 頁. DOI (可能であれば)
但し, 英文の著者名および雑誌名の省略を表すピリオド [.] は省くこと.

例 1 O'Boyle CA, McGee H, Hyicky AD, et al. Individual quality of in patients undergoing hip replacement. Lancet. 1992; 33 9: 1088-1095. doi: 10.1016/0140-6736 (92)90673-q

例 2 浅川康吉, 高橋龍太郎, 青木信雄, 他. 筋力と高齢者のADL -下肢筋力と転倒・ADL 障害の関連-. PT ジャーナル. 1998; 3 2 : 933 -937.

(2) 単行本から引用する場合

著者氏名. 表題. 書名 (版) . 編者名など (編 / 訳 / 監修など) , 発行地, 発行所, pp 頁 - 頁, 出版年.

例 1 藤原勝夫 : 高齢者の動作様式. 身体機能の老化と運動訓練 (リハビリテーションから健康増進まで) , 藤原勝夫, 碓井外幸, 立野勝彦 (編) , 東京, 日本出版サービス, pp146 -147, 1996.

例 2 Hart E & Bond M: Action research for health and social care. A guide to practice. Open University Press, Buckingham, pp36 -77, 1995.

(3) Web ページの場合

著者氏名 / 団体名. 表題. 掲載URL (年月日引用) .

例 1 厚生労働省. 平成12年度人口動態職業・産業別統計 (人口動態統計特殊報告) .

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyuu/00jdss/index.html> (2009年4月16日引用)

14) 英文要旨および英文原稿は, 原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受けること.

4 . 研究倫理

1) 原稿は, 全て未発表のものとする. また, 原稿の執筆に際して, 執筆者は, 剽窃はもとより, 日本語または外

国語による他の著作物から当該の言語のまま引用、あるいはほかの言語に翻訳して引用する場合であっても、第三者の著作権が侵害されることのないよう、最大限留意しなければならない。

- 2) ヒトが対象である研究はヘルシンキ宣言や疫学研究に関する倫理指針に基づき、また動物が対象である研究は医学生物学的研究に関する国際指針の勧告の趣旨に沿ったものとする。倫理委員会の承認を得た場合は、その旨を本文中に明記する。

5. 利益相反 (COI)

利益相反の可能性のある事項（講演依頼、コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は必ず明記すること。なお、利益相反に関しては日本学術振興会および所属学会等が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること。

6. 原稿の採択

原稿の採択は編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の一部変更をお願いすることがある。また、編集委員会の責任において字句の訂正をすることがある。

7. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、全て神戸国際大学リハビリテーション学研究所に帰属する。

8. 改廃

本内規の改廃は、リハビリテーション学研究所運営委員会の議を経て、リハビリテーション学部教授会の承認を得なければならない。

9. 原稿送付先および連絡先

神戸国際大学リハビリテーション学研究所

〒658-0032

神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6

電話 (078) 845-3455

FAX (078) 845-3691

E-mail:rehab@kobe-kIU.ac.jp

附則

1. 2009（平成21）年6月1日から施行する。
2. 2010（平成22）年6月1日から改正施行する。
3. 2011（平成23）年7月1日から改正施行する。
4. 2023（令和5）年10月1日から改正施行する。